

浜松光宣言

序

2013年、私たちは、困難な、しかし実現すべき目標として“浜松を『光の尖端都市^{preeminent city}』に”のイメージを「浜松光宣言 2013」で示した。以来10年、私たちは、この遥かな目標に向けてさまざまな活動を続けてきたところである。

***** 浜松光宣言 2013（抄） *****

——世界の俊英が、一度はそこで学び、研究・開発をしたいと思う

「光の尖端都市^{preeminent city}HAMAMATSU」に

——世界に役立つ新しい光科学、新しい光産業を創造する

「光の尖端都市^{preeminent city}HAMAMATSU」に

そこでは、光を識り、光を使うことが究められる。

そこでは、世界トップレベルの光の基礎/応用研究が行われる。

そこでは、世界が望む光製品/光技術が開発される。

そこでは、世界から、光の本質を解明し、光を自在に操ろうとする学生/研究者/
医学者/技術者/市民/起業家/企業/大学/研究機関が集い、刺激しあう。

そこでは、これからの光応用産業発展の主役であるベンチャー企業や中小企業が活発に活動する。

そこでは、光の面白さ、光の無限の可能性を若い世代に向け、発信し、教育がなされる。

われわれ、国立大学法人 静岡大学、国立大学法人 浜松医科大学、学校法人 光産業創成
大学院大学、浜松ホトニクス株式会社は、「光の尖端都市^{preeminent city}HAMAMATSU」を創造していく
ために行なえることすべてに、密接に連携して取り組んでいくものである。

2013年6月11日

preeminent city
『光の先端都市』 浜松のさらなる発展に向けて

～ 浜松光宣言 2023 ～

「浜松光宣言 2013」から10年、私たちは、その基本的な精神を継承しつつも、これまでの諸活動を通じて得た知見と経験を活かし、『光の先端都市^{preeminent city}HAMAMATSU』の実現と地域の振興を目指す新たなステージに進むため、静岡県、浜松市及び諸支援機関との連携の下、今後、重点的に推進すべき6つの項目を明確にした「浜松光宣言 2023」をここに明らかにし、4機関の名において宣言する。

1. 光科学と光応用産業の発展

光の本質の解明を通じて、光の無限の可能性を追求し、光を自在に操るための研究と技術開発に取り組む。新たな光応用技術や製品の創造、光技術の社会実装を通じて、社会の発展に貢献する。また、新たな産業の育成と地域経済の発展を支援するために、地元企業やスタートアップ企業との連携を強化する。

2. 光の先端都市^{preeminent city}HAMAMATSU を新たなフェーズへ

「光の先端都市^{preeminent city}HAMAMATSU」を新たなステージに押し上げ、国内外の研究者、技術者、起業家、企業が集い、光に関する研究・開発・産業化を推進する拠点とする。卓越した研究環境や教育プログラムの整備、光を軸にした多彩な研究領域の若い才能の交流、産学連携の強化により、世界が注目する光のイノベーションを創出する。

3. 地域振興と持続可能な成長

光技術の応用による新産業の創出を通じて、静岡県全体の地域振興を促進する。産業の集積化や中小企業支援策の充実、地域社会との連携による地域課題の解決などを通じて、持続可能な発展を追求する。また、光技術を医療や健康領域に応用し、高度な医療機器や光を用いる診断・治療法の開発に取り組むことで、人々の生活の質を向上させる。さらに地元の若者の育成と雇用創出に注力し、光技術を応用した新たな産業の育成を通じて地域の魅力向上と活性化を図る。

4. グローバルな研究・教育拠点の構築

若い世代に対して光の面白さと無限の可能性を啓蒙し、光科学と光応用産業への関心を高め、光に関する教育プログラムを充実させる。国内外の研究機関や大学との国際的な協力を深化させ、実践的な研究活動の推進を行う。また、国内外の優秀な研究者や学生が「光の先端都市^{preeminent city}HAMAMATSU」で学び、研究・開発を行いたいと思う環境を整える。

5. イノベーションと起業支援

イノベーションの促進と起業支援に力を入れる。研究成果や技術の製品化を支援し、スタートアップ企業や起業家の育成を行う。また、中小企業の支援にも力を注ぎ、新たなビジネスチャンスを創出できるようサポートも行う。光技術の社会実装におけるビジネスモデルの創出や市場開拓に向けた支援を行い、地域経済の活性化と雇用創出を推進する。

6. 新たな地域文化の創造

光は美しさや感動をもたらす力を持っている。光を活用した芸術や文化の振興にも取り組む。「ものづくり文化」が根付いている浜松において、「光の応用」と「ものづくり」が結びついた新たな地域文化の創造に貢献していく。

私たち、国立大学法人 静岡大学、国立大学法人 浜松医科大学、学校法人 光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス株式会社は、「浜松光宣言 2023」の下、光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSUの創造と新産業の発展、地域の振興に向けて一体となって取り組んでいく。私たちは光の力を最大限に活用し、持続可能な社会の実現に貢献していく。

<今後の活動方針>

- ・ 本「宣言」に謳う「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」の実現を図る。
そのために主体的で積極的な活動を行う。
- ・ 「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」は、光の最先端の研究をめざし、世界と交流する。
- ・ 「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」は、光技術の応用による産業化を恒に意識する。
- ・ 「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」は、光技術の応用を軸に地域振興と持続可能な成長を図る。
- ・ 「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」は、光に関するグローバルな研究・教育拠点を構築する。
- ・ 「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」は、イノベーション・エコシステムの構築を意識し、スタートアップ企業、中小企業の迅速な支援を行う。
- ・ 「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」は、「ものづくり文化」を基盤に新たな地域文化を創造する。
- ・ 「光の^{preeminent city}先端都市HAMAMATSU」は、国や県市の施策との連動を図り、我が国の基礎研究/応用研究の進展、産業競争力の強化に貢献する。

2023(令和5)年6月11日

国立大学法人 静岡大学

学長 日詰 一幸

国立大学法人 浜松医科大学

学長 今野 弘之

学校法人 光産業創成大学院大学

学長 伊藤 博康

浜松ホトニクス株式会社

代表取締役会長 晝馬 明